

アブノメ

Dopatrium junceum (Roxb.) Buch.-Ham. ex Benth.

ゴマノハグサ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地が限られ、個体数も少ない。(現況:R-)

形態

茎は高さ10~25cm。根ぎわの葉は狭長卵円形で柄がなく、長さ10~25mm、幅3~5mm、上部の葉はしだいに小さく鱗片状になる。葉腋ごとに1花をつける。茎の中部の葉腋には柄のない閉鎖花をつける。茎の上部の花は10mmほどの柄があり、萼は長さ2mm。花冠は淡紫色、長さ5~6mm。蒴果は長さ2mm。対になってつく球形の果実をアブ(虻)の眼に見立てた名。

国内分布

本州(福島県以南)、四国、九州、沖縄。

県内分布

内浦区、中能登区。

生態など

1年草、花期は8~9月。

生育環境

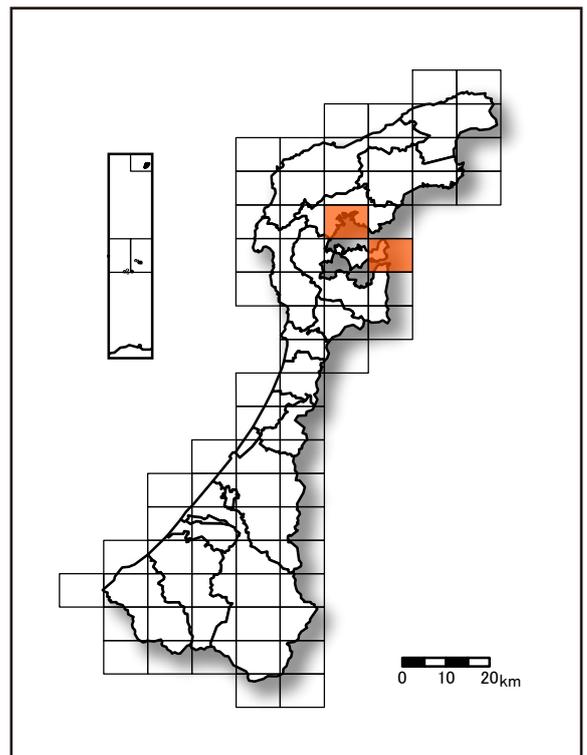
湿地。

危険要因

土地造成、農業汚染、自然遷移。



林 二良・2009年8月19日・南加賀



県内の分布